

当社は、今年4月の小売全面自由化以降、お客さまのご要望に「より浴う」サービスの提供に向けた具体的なアクションを展開しております。

新料金プランと会員制 Web サービス「よりそう e ネット」の提供

当社は、今年4月から提供を開始した、お客さまのライフスタイルに合わせてお選びいただける3つの新料金プランと、利便性向上につながる会員制 Web サービス「よりそう e ネット」を、より多くのお客さまにご利用いただくため、テレビ CM 放映や新聞広告の掲載、入会キャンペーンの実施など、積極的に PR 活動に取り組んでまいりました。その結果、これまで多数のお客さまからご契約・ご登録をいただいております。

また、首都圏のご家庭向け電気料金プラン「よりそう、でんき」もご好評いただいております。これらは当社収益力の向上にも寄与するものと考えております。今後も、お客さまのニーズにかなう、さらなるサービスの開発・充実をはかってまいります。



より多くのお客さまにご登録いただき、「よりそう e ネット」をご活用いただくため、春と夏に入会キャンペーンを実施いたしました。今後も、魅力あるキャンペーンを企画・実施してまいります。

■「よりそう e ネット」ご登録件数の推移



新料金プラン・新サービスの お申し込み・お問い合わせについて

**新料金プラン・新サービスの詳細、
お申し込みはホームページから!**

ご不明な点は東北電力コールセンターまで!

☎ 0120-175-028

受付時間 月曜日～金曜日 9:00～17:00
※ 祝日、年末年始(12/29～1/3)を除く

提携クレジットカード「より、そう、ちから。東北電力カード」の発行合意

今年7月、当社はイオンフィナンシャルサービス株式会社および株式会社イオン銀行と、提携クレジットカード「より、そう、ちから。東北電力カード」を発行することに合意いたしました。

本クレジットカードは、平成29年1月の発行を予定しており、当社としては初の提携クレジットカードの発行となります。3社は今後、クレジットカードの発行に向け、サービス内容の詳細検討を進め、お得なサービスの提供と、東北6県と新潟県の復興支援や地域活性化への取り組みの充実をはかってまいります。

特典

- ①当社のポイントサービス「よりそうeポイント」を、提携クレジットカード搭載のイオン電子マネー「WAONポイント」に交換することが可能。ポイント交換率は2倍に設定。
- ②イオンカードの共通の特典として、全国のイオン各店舗等や優待施設で割引・優待等が適用されるほか、クレジットカードのご利用額に応じて、「ときめきポイント」を獲得。
- ③当社とイオン銀行とで、お客さまによる提携クレジットカードのご利用金額の一部を、東北6県および新潟県の復興支援や地域活性化を目的とした基金へ寄付。

お客さまのニーズにより沿う、お得なサービス

よりそうeポイント



交換率は2倍!
ポイント交換



※デザインは変更する場合があります。

割引・優待が適用



地域に寄り添い、復興や活性化に貢献

東北電力 イオン銀行

カードショッピング
ご利用金額の一部を寄付



世界最大級の大容量ロータリー圧縮機を搭載した加熱性能強化型ヒートポンプの開発

当社と東芝キャリア株式会社は、世界最大級の大容量ロータリー圧縮機*を搭載した加熱性能強化型の空冷ヒートポンプ熱源機を共同開発いたしました。

大型空冷ヒートポンプ熱源機は、比較的大規模な工場や商業施設等で空調設備として多く採用されておりますが、お客さまより、低外気温時の霜取り運転における加熱性能の強化が望まれておりました。そこで、より快適な室内暖房と省エネルギーの実現、ヒートポンプシステムのさらなる普及拡大をはかるため、本新型機を開発したものです。

平成29年3月より、東芝キャリアにて販売を開始する予定としており、両社は、今後もフィールド試験等を行いながら、さらなる性能向上に取り組むとともに、お客さまへの提案活動を実施してまいります。

※ 量産ロータリー圧縮機では世界最大級 (平成28年9月29日現在 東芝キャリア調べ)



空冷ヒートポンプ熱源機 (写真は従来型)

トピックス2

最適な電源構成の実現に向けた取り組み

当社は、小売全面自由化のもとでの競争に打ち勝ち、地域の復興・発展を支える低廉で安定した電力を供給するために、多様なエネルギーをバランスよく組み合わせた最適な電源構成の実現に向けて取り組んでおります。

新仙台火力発電所3号系列の全量による営業運転を開始

当社は、今年7月、新仙台火力発電所3号系列(出力98万kW)の全量による営業運転を開始いたしました。同3号系列は、経年化が進んだ1・2号機を廃止し、LNGを燃料とする高効率コンバインドサイクル発電設備としてリプレースしたもので、世界最高水準となる60%以上の熱効率を達成いたしました。これにより、従来型のガス火力と比べ、燃料消費量および二酸化炭素排出量がそれぞれ約3割削減できるものと試算しております。

また、自然災害リスクに備え、当社初となるLNG燃料設備を構内に建設し、より安定した燃料供給の実現をはかっております。



新仙台火力発電所3号系列 外観

新設水力発電所の営業運転を開始

当社は、今年5月に津軽発電所(最大出力8,500kW)、今年6月に第二藪神発電所(最大出力4,500kW)の営業運転を開始いたしました。

引き続き、地域の自然エネルギーを最大限活用し、再生可能エネルギーの導入拡大に取り組んでまいります。



津軽発電所(青森県中津軽郡)



第二藪神発電所(新潟県魚沼市)

原子力発電所の安全性向上に向けた訓練の実施

当社は、女川および東通原子力発電所のさらなる安全性向上に向けて、ハード（設備面）・ソフト（運用面）の両面から各種安全対策の強化に取り組んでおります。

今年7月、当社は運用面での安全性向上の取り組みとして、宮城県沖を震源とする東日本大震災と同規模の地震と太平洋側の津波により、大規模供給支障と原子力災害の同時発生に至る「複合災害」を想定した訓練を実施いたしました。引き続き、過去の災害経験を通じて得られた知見、教訓に基づき、原子力災害対策訓練や技能訓練などを継続的に実施し、災害対応力の強化に努めてまいります。

原子力災害と大規模供給支障への同時対応



原子力災害緊急時対策本部では、原田社長の指揮の下、原子力災害に関わる情報共有および対応の審議を行う



今回新設した、自治体要請に対応する住民避難支援班



非常災害対策本部では、地震・津波による供給支障への対応の審議を行う

ヘリコプターを使用した女川原子力発電所の外部電源復旧対応

今回の訓練では、陸上自衛隊の協力のもと、ヘリコプターを実際に稼働させた訓練を行いました。これは、送電線の復旧が必要な箇所への陸路移動が困難な事態を想定したもので、女川原子力発電所の外部電源早期復旧をはかるために、復旧要員を移送する訓練です。

ヘリコプターは、陸上自衛隊霞目駐屯地を離陸後、30分程度で女川原子力発電所へ到着し、現地では移送された復旧要員が復旧を要する箇所の確認などを行いました。



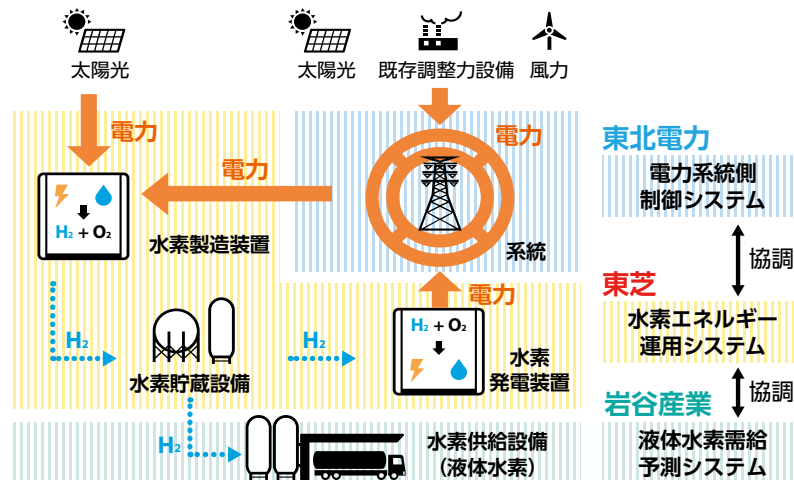
当社は、低炭素社会の実現に向けて、再生可能エネルギーの導入拡大に継続的に取り組むとともに、環境保全に向けたさまざまな取り組みを推進しております。

世界最大規模の水素エネルギーシステムの開発検討に着手

当社は、株式会社東芝ならびに岩谷産業株式会社と、NEDO*が公募した「水素社会構築技術開発事業」に共同で提案し、今年9月に委託事業の採択を受けました。

水素は、再生可能エネルギーを大量導入した際の電力システムの調整力としての活用が期待されており、本事業では、世界最大規模の水素製造装置を備えた水素エネルギーシステムの構成および仕様を検討するとともに、事業可能性を調査いたします。また、福島県内を実証エリアと予定しており、地元電力会社として同県の復興に貢献できるよう取り組んでまいります。

■水素エネルギーシステムの概要

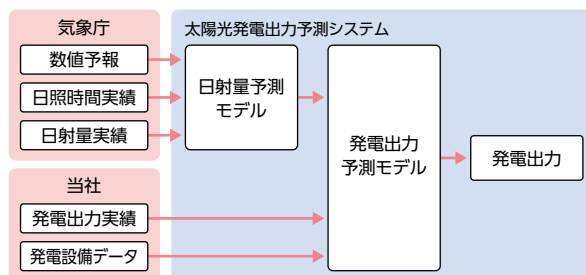


※NEDO：国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構

新たな太陽光発電出力予測システムの開発・運用開始

当社は、太陽光発電出力の予測精度の向上をはかった、新たな「太陽光発電出力予測システム」を三菱電機株式会社と共同で開発し、最適な需給運用に向けて、今年4月より新システムの運用を開始いたしました。今後、当社系統への太陽光発電設備の接続量がさらに拡大し、太陽光発電の出力制御が必要となった場合においても、本システムの活用により、出力制御量を最小限に抑え、太陽光発電による電気を最大限に活用できるものと考えております。

■予測モデルの概要



- ・気象庁提供の各気象データを基に各地点の日照量を予測
- ・予測した日照量を基に、発電出力予測モデルにより太陽光発電の出力を算出
- ・太陽光出力実績、気象実績などの蓄積データにより、出力予測モデルの学習を実施(継続的に予測精度を向上)

能代火力発電所と能代エナジウムパークが当社として初の「体験の機会の場」に認定

今年3月、能代火力発電所と能代エナジウムパークが、環境省が取り組んでいる「体験の機会の場」に認定されました。本制度は、自然体験活動等の体験の場として提供する施設等を自治体が認定する制度で、「見学を通じて、発電所が行う環境保全に係る取り組みや地球環境の大切さ、エネルギー資源の重要性について理解を深めることができる」ことを理由として、当社としては初めての認定に至りました。また、秋田県内での認定もこれが初となります。

当社はこれからも地域に寄り添い、地域のみなさまとのコミュニケーションに努めてまいります。

■能代エナジウムパーク (PR 館)

能代火力発電所からの排熱を利用した熱帯植物園や能代の文化に触れることができる施設を有し、年間約7万人に来場いただいております。



海岸防災林復活活動「東北電力グループ 相馬 希望の森」を実施

当社は、東日本大震災の津波で壊滅的な被害を受けた海岸防災林の復活活動に取り組んでおります。これは、震災により失われた海岸防災林の復活を望む地域の方々の思いと、東北の復興に関わり支援したいという社員の思いを結びつけ、社員ボランティア活動として始まったものです。

この取り組みの一環として、今年5月と6月に福島県相馬市において「東北電力グループ 相馬 希望の森」と名付けた植樹活動を行い、当社企業グループのほか、近隣の小・中学校からも参加していただきました。

当社は、今後も地域の復興に向けた取り組みを進めてまいります。



植樹活動では、当社企業グループから約130名、近隣の小・中学校から約170名が参加し、約4,200本のクロマツを植樹しました。